

新 除 草 剤

ペアサイド粒剤

PCP・MCP除草剤

(取扱会社)

ペアサイド普及会

武田薬品工業株式会社
中外製薬株式会社
八洲化学工業株式会社
日本カーバイド工業株式会社
(事務局)

性状・使用特性：本剤の主成分は、ペンタクロルフエノールカルシウム複塩二水化物（PCP-Ca）30%と、2・クロル・4・クロルフエノキシ酢酸カルシウム（MCP-Ca）1%の混合粒剤である。

PCPカルシウム、MCPカルシウムともにその作用はよく知られている通り、前者はノビエ・カヤツリグサ等水田初期雑草に有効な接触除草剤であり、後者はマツバイなどの多年生雑草やコナギ・ヒロムシロなど広葉雑草及びある程度生育の進んだ幼少雑草に対し、根・莖葉から吸収されて殺草効果を示すホルモン型除草剤である。本剤は、この両者を合理的に配合することにより、相乗効果を得、全雑草特に広葉雑草及びマツバイに卓効を示し、効力の持続期間もPCP-Na単剤の2倍程度に長くなり、水田の初期～中期にわたって使用できる。また、土壌中の移動程度も、PCP-Na単剤の2倍程度である。

水稻に対する薬害については、極端な漏水田を除いては殆んど認められず、特に本剤は独特のカルシウム複塩粒剤になつているため、徐々に有効成分を溶出するので、効果の持続と薬害を軽減化させるという安全・効果的な土壌処理

剤である。

魚毒性は、コイで48時間TLMが0.253ppmと、PCP-Naよりは低いが強いのので注意する。

使用方法：普通期及び早期栽培の活着後（移植後4～7日）及び中耕後湛水土壌処理用として、10アール当り製品3kgを均一に散布する。

魚貝類に対する使用上の注意は、PCPに準じ、かけ流しや漏水の激しい水田での使用は避ける。

本剤は、必ず湛水状態（水深3～5cm）で使用する。いつたん水底に落下し、有効成分を溶出させ、土壌表層部に処理層を形成して効果を示すので、散布後1昼夜ぐらひは田の水の移動を行なわないようにする。

適用土壌は埴土～壤土で、日減水深2～3cm以下のところで使用する。また、田植え前や直後の使用をさけると共に、寒冷地の早植え地帯などで気象条件が悪く、生育抑制の心配があるところでは、薬量を少なくするか、中耕後に使用する。

エビデン

DMP粒剤

(取扱会社)

兼商株式会社

性状・作用特性：本剤の主成分は、2・6・ジクロルベンゾニトリル（DBN）と、2・メチル・4・クロルフエノキシ酢酸エチルエステル（MCPB）及びペンタクロールナトリウム一水化物（PCP）の3成分混合剤である。製品には、3成分合計14.64%で適用地帯を全国とする「エビデン粒剤」と、成分合計18.7